

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

『島根創生計画』で 県民は笑顔に なれるのか

島根自治研総会開催

8日、県民会館で島根自治研総会が開催され、「『島根創生計画』で県民は笑顔になれるのか」をテーマに、各分野から4名が発表しました。まず、島根県教職員組合の



島根創生計画の問題点を学ぶ参加者

猪俣邦頭書記長が、少人数学級編制基準の改善問題について、子どもと教職員へ与える計り知れない悪影響を説明し、改善を中止させる取り組みを呼びかけました。

次に、しまね介護福祉ユニオンの佐々木のり子執行委員が、人手不足で過重負担の労働実態や、低年金のため入所できる施設がない高齢者の実情を報告し、現状を打開できる県政が必要と述べました。

続いて、新日本婦人の会の山崎泰子県本部委員長が、創生計画の現状把握について、「結婚しない若者の原因は出会いがないこと」と若者の低賃金実態を見ない等、観念的な分析に終始し、展望のある

計画ではないと指摘しました。さらに、島根大学の藤本晴久法文学部准教授が、創生計画の中山間地域政策は住民自治を進めるべき、また、産業経済政策は小規模企業切り捨てのアベノミクスに追随すべ

少人数学級の制度の維持を求めて・県民集会

2月2日(日)、松江市総合福祉センターで、「現行の少人数学級制度を後退させない・子どもと教育を大切にす

る県民の集い」(ゆきとどいた教育を進める島根の会・主催)が開催され、市民や教育関係者150人が参加しました。

島根県は財源不足を理由に、少人数学級制度(学級編成基準)を大幅に見直す案を2月定例議会に提案するとしてお

きでない」と主張しました。その後、参加者から、県民の実態に沿った創生計画に変えさせる必要がある等の活発な意見交換が行われました。最後に、総会で活動方針と新役員を承認しました。

コロナウイルス対策

緊急申し入れ・共産党市議団

2月10日(月)、日本共産党松江市議団(橋祥朗団長)は、感染者の拡大が続くコ

ロナウイルス対策について、市内の感染者は現状では確認されていないが早急な対応が必要として、松江市に緊急申し入れを行い、健康部の小塚豊部長、高橋浩三次長と懇談しました。

申し入れ内容は、◆新型肺炎の検査可能施設の有無、◆患者が入院できる医療施設と病床数、◆病床が開いているかどうか、開けておくための財政支援が必要、◆国の指定で策定している「新型インフルエンザ対応行動計画」を今

回の事態に生かすことの検討。◆正しい情報や適切な行動の策強化を求めています。

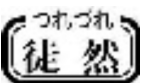


少人数学級を維持しようと熱気の会場

市民への周知徹底、◆相談窓口など市民への対応、などです。

懇談で、◆日赤や市立病院で6床確保、◆中国の友好都市へマスクを5万枚寄贈、市の備蓄は60万枚、◆湖北省以外の帰国者は検査対象ではない、◆公民館等へチラシを配布し冷静な対応を呼びかける、◆対策幹事会を設置し、国や県と連携し対応していく、◆松江保健所に専用相談ダイヤルを設置(337673)、等説明がありました。

会場からも、小学生や父母たちが、子育ての環境を良くするためにも制度の維持を訴え、最後に「一人一人にきめ細やかな指導を、現場の声に耳を傾けて現行制度の維持を」のアピールが採択されました。



松江はどのような特性を持つまちなのでしょう。か。「松江らしさとは何か」を考えたことが

あります。国宝松江城天守を持つ城下町。風土記の丘を中心とする古代出雲の中心地。宍道湖・中海・日本海に面した水の都。それぞれ全国有数の特徴がありますが、総合した特性は何でしょうか。松江市に赴任している国際交流員さんに、松江らしさを尋ねたことがありません。皆さん松江の良さを母国にネットで発信しています。欧米の人もアジアの人も異口同音に言っていることは、松江は何でもそろっている、という言葉でした。つまり海外から見た日本的なもの、全てそろっているまちなのだ、という主張です。山・川・海・湖があり、景観が美しい。食材がそろう、蕎麦・おでん・和菓子・日本酒など個性的な食品がある。温泉もある。伝統芸能や伝統工芸、神社・お寺やお祭も多い。抹茶や煎茶を飲む習慣がある。松江市民から見たら当たり前の暮らしが、今の日本ではすでに無くなっているのです。東京はグローバル企業のための世界都市。京都はミヤコという特殊な都市です。日本における地方都市の代表は、松江なのです。安倍政権の「地方創生」の「まかしに乘らず、この松江の個性に磨きをかける努力が必要です。(和)